

ディボーション質問表



*アモス書の内容は3つに分類出来ます。1：3～2：16が「諸国に対する審判」、3～6章が「イスラエルに対する審判」、7～9章が「イスラエルに対する計画」です。

20日 (月) アモス書 4：1～13節 悔い改めないイスラエル

1. 敵の存在や、何らかの困難は結局、何の為にあると思いますか？ もしそのような事がなければ、人はどうなってしまうのでしょうか？
2. 今の日本にあてはめるとどんな困難や敵が存在するでしょう。そのことからあなたは何を学びましょうか？
3. 人は自分の罪をごまかすためにどんな事をするでしょうか？ この箇所から例をあげてみましょう。

21日 (火) アモス書 5：1～27節 罪を捨て神を求めよ (1～15)、神の拒否 (16～27)

1. ここ (1～17 節) はいわゆる宗教的な人々への警告です。人間の教えにこだわりながらも彼らがおちいっていった罪はどんなものでしたか (10～12 節)？ この箇所で人が悔い改め、実践できる事は何でしょうか？
2. ここでは神のどのような人格が反映されていますか？
3. ここ (18～27 節) で神が述べている公義と正義はそれぞれ、何を意味しますか。あなたが果たすべき公義と正義は何ですか。
4. 神が願う事と人々が考える事が、ここでは大きく食い違っていきます。今、自分にはそのようなピント外れな行動がないか、何か思い当たる事はありますか。
5. この世はわたしたちに成功を要求しますが、神は何を求めていると思いますか？ 自分の中に「成功だけが善」という価値観が入り込んでいませんか？

22日 (水) アモス書 6：1～14節 さばきの宣告

1. 公義 (社会的責任) を毒に、正義 (個人の倫理的行動) を苦よもぎに変えるというのは、どういうことでしょうか？
2. この時のイスラエルの国家としての雰囲気想像してみましょう。どんな戒め、またヒントを発見しますか？
3. 10節には疫病の流行が言及されていますが、このような病の知らせから人はどんな反応をひきおこしますか？

23日 (木) アモス書 7：1～17節 さばきの幻 (1～9節)、アマツヤの反対 (10～17節)

1. この箇所 (1～9 節) での神のご性質で最もあなたの印象に残る事は何ですか？ またそのような神にあなたはどのように働きかけますか？
2. ここでは有名な神の重りなわ (8 節) ができます。この神の重りなわはわたしたちにとってどんな意味があるでしょう。またそのことはわたしたちにどんな恵みをもたらすと思いますか？
3. この箇所 (10～17 節) で、アモスはどのような扱いを受けていますか？ このことから神に従う時の心構えも教えられる。あなたは何を見いだしますか？
4. アモスはこの預言をしながら、どのような思いでイスラエルを見ていたと思いますか？ わたしたちが日本の為にできる事は何でしょう。

24日 (金) アモス書 8：1～14節 さばきの幻

第四の幻を通して、神様はイスラエルの終わりを宣言します。

1. アモスはどんな幻を見ていますか (1～3節)？ なぜ、さばかれるのでしょうか (4～6節)？
2. 弱者をおろそかにする社会はどの範囲まで影響を与えるのでしょうか (9～14節)？

25日 (土) アモス書 9：1～15節 イスラエルの終わりと回復

1. 第五の幻は他のものとは違いますが、どのようにでしょうか (1 節)？ 神様から逃れられる者はいますか (1～6 節)？
2. 7節に注目しましょう。クシュ人はイスラエル人からして最果ての民でした。また、エジプトから脱出したことは選民意識でとても重要な事でした。ここから、どのようなことを語っていますか？
3. 神さまは何を滅ぼし、何を回復しますか (8～12 節)？ 回復はどのような祝福がありますか (13～15 節)？
→ 罪を犯した時、自分でそこから回復できないことを自覚しているだろうか？ 神さまにしか罪より救い出す事はできなく、回復してくだされば素晴らしい祝福があるのだ、いつも謙遜で正直でいるだろうか？